

## 第17回 今後の県立高校の在り方検討委員会 議事録

日 時 平成30年2月22日（木）

15:00～17:00

場 所 サンラポーむらくも 祥雲の間

### 1 会長あいさつ

皆さん、こんにちは。つい数日前、20日だったと思いますが、地域の新聞に、日御碕神社の和布刈神事（めかりしんじ）のことが書かれていました。皆さんは和布刈神事というと日御碕神社を連想されるかもしれませんが、私の生まれ故郷の北九州の門司に、まさに和布刈神社という神社がございまして、そこでもワカメを刈る神事が行われます。こちらでは昼間行われるようですが、私どもの地方では、それは人に見られてはいけない神事なので、真夜中に松明をともして行われます。いずれにしましても、旧暦のお正月に行われ、春の訪れを感じさせるような、そういう神事だと思います。

平成28年4月22日に第1回の委員会が行われました。くしくもきょうは22日でございます。1年10カ月という期間をかけた長い検討の時間、皆さんと一緒に過ごしてきましたが、やはり最後になると少し緊張しています。

パブリックコメントをいただきました。さまざまな声をお寄せいただきました。その結果を受けて、この委員会でもう一度目を通して、提言を行いたいと思っていますところですが、限られた時間ですが、思い残すところがないようにさまざまなご意見をいただきますようお願い申し上げます。最初のご挨拶にさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 2 議事

[事務局よりパブリックコメントの実施結果について報告]

[パブリックコメントに対する主な意見に対する回答を肥後会長より説明]

○委員

13番の意見は特に普通科高校の大学受験に焦点を当てて書かれていると思うので、この最初の2行の書きぶりはどうかと思う。

○肥後会長

学力面については大事だが、それだけではなくて、この委員会のスタンスとしてはもう少し幅広に提言しているのでご理解いただきたいという表現で良いかと思う。

○委員

9番の意見の回答について。土日の教育活動について、2行目に学習塾の講師と書いてある。民間の学習塾と読めるが、この言い方で良いのか。

○肥後会長

地域によっては委託して実施しているところがあると思うが。

○事務局

魅力化高校を中心に公営塾等が設置されている。その公営塾は、町営の場合もあるし、町が民間に委託するケースもある。飯南高校、島根中央高校は、かなり民間寄りの体制になっていると思う。津和野高校でも、町が委託する形で公営塾を設置している。基本的には町が委託するケースが多いのではないかと思う。

○委員

学習塾を個人で経営している方が読んだときに、仕事がこれから増えるのではないかという捉え方をされなくもない。公営塾という言葉があまり馴染みのない言葉なので使えるかどうかはわからないが、そこを少し考えて文言をつくる必要があるのではないかと思う。

○肥後会長

余りビジネスチャンスにはならないと思う。学習塾の講師など、民間を連想されても、そんなに大きな問題はないような気がするが。

ここに地域の先生が出ていく訳にもいかないし、何らかの形で民間の活力を利用することになると思う。その一つの例として学習塾を取り上げているが、これを公営塾とすると、逆にそうではないケースもたくさんあるので、それはそれで問題があるかもしれない。

○委員

「幅広い地域人材の協力を得て」だけにすると逆に広過ぎて、何のことかわからなくなってしまう。

○肥後会長

土日ではないが、放課後を中心に実際にやってもらっていることを書いているというだけのこと。民業として成り立っている地域にまで広げていくことはないと思うが、そうではない地域について、地域の協力を得るといった形はあり得ると思う。別に大きな問題はないように思う。

○委員

美郷町の公営塾では、飯南高校の講師に週2日来てもらっている。ちなみに受講料は無料

でやっている。

○肥後会長

地域の高校生、高校を地域全体で支えていくということであれば、いろいろな活力を使っていくことになる。

○委員

33番の意見の後段に、「地元中学生の進路選択への影響がないよう十分配慮をお願いしたい」とあるが、これは今後のことなのか、それとも現在も起こっており、今後県外枠が広がると、さらにこういう問題が出てくるという考えなのか、実態がどうなっているのか確認したい。

○委員

事実としてそういった事例があったので、この意見が上がっていると認識している。このことは県教育委員会でも把握している。ただ、全体像を見たときに、これが大きな課題であるとまでは言えないと思う。

○肥後会長

一般論としてどうなのかという話と、その地域のその高校に通うしか選択肢がない中学生が行けない事態が起こるという話と、それから都市部で学力によって他地域から流入してきて、別のところに通わざるを得ないという話とは少し分けて考えなければいけない。多分限られた高校にしか行くことができないのに、県外者が流入することによって行けなくなってしまうような事態が起きないようにというご懸念だと思う。

○事務局

積極的に県外生徒募集を進めている高校において、県内生徒が高校入試によって不合格になった例はある。もともと県外生徒募集の制度をつくった際には、県教育委員会も県内生徒の進路保障に配慮しながら進めてきたところだが、提言においてもこのような文言を入れていただいているので、これまでと同様に、今後も適切に対応していく必要があると考えている。

○委員

県内生徒の進路保障は考えなければいけないと思うが、入試なので不合格者が出たら絶対だめだということではないと思う。進路保障ということが、全員が高校に上がれなければいけないということとイコールにしてしまうと、進路保障という意味が拡大解釈されるのではないかと思い、現状を確認したところである。

○委員

35番の意見に「フレックスタイム制の導入を検討する必要がある」となっている。いわゆるフレックスタイム制ではないかもしれないが、現場においてはもっと柔軟な勤務体制があるのではないかと思う。現状を確認したい。

○事務局

フレックスタイム制と言えるほどのものではないが、事情がある場合には少し早く出勤して早く帰るとか、遅く出勤して遅く帰るとか、30分単位1時間単位で、特別な事情があれば校長が認める制度はある。

○委員

14番の意見は現場を踏まえた良い意見だと思うが、それに対する回答が少し冷た過ぎるのではないか、愛がなさ過ぎるのではないかと思う。

○肥後会長

例えば県内の外国人生徒の増加の状況についてデータを見て検討するとか、その困り感とか課題について具体的に検討するところまでできなかった。検討ができなかったことは事実なので、大事な課題として認識している、今後の検討課題とし、県で取り組んでいただきたいと書いている。

○委員

提言案を読むだけでも大変なのに、意見を送ることはすごいことだと思う。こういう方々の意見や思いをこれからの力にしていく必要があると思うので、ぜひ、冒頭に社交辞令ではなく、愛を込めて「ありがとう」と感謝の言葉を書いてほしい。

○肥後会長

パブコメ全般の返し方として、結構な件数の意見をいただいているので、そのことに対するお礼の気持ちは何らかの形で書きたいと思う。

○委員

パブコメの返し方で、124件の意見を35項目にまとめているが、集約方法・基準を確認しておきたい。

○事務局

主な意見を整理するに当たり、まず同一意見をひとつにまとめている。また、提言案に対する賛否のみの意見については、主な意見にはあげていない。

○委員

ちなみに他の計画と比較して、パブリックコメントの件数は多いのか少ないのか。

○事務局

正確には把握していない。県のホームページに掲載されているパブリックコメントの実施結果を確認した限りでは、一番多いもので70件を超えているものがある。本提言案のパブリックコメントでは、それらを大きく上回る件数の意見が寄せられている。

○委員

回答を見ていて、提言案のどの箇所の回答であるかがわかるようにしてほしい。例えば、回答の欄に何ページの何段目と記載してもらえると分かりやすくなる。

○委員

逆の形でも良いのではないかと。例えば、これは提言の1の1に関する質問と書けば、読む側は、これはこの項目についての回答だと理解できる。

○事務局

掲載している意見は、なるべく提言の項目順になるように整理しているので、分かりやすくなるよう工夫してみたい。

[提言案P19「パブリックコメントを踏まえて」について、肥後会長より説明]

○委員

この「パブリックコメントを踏まえて」の下から3行目、「これらの県民の意見も踏まえ」とあるが、県外の方からもご意見をいただいているのではないかと。

○肥後会長

いただいている。「県民の」を外して、「これらの意見も踏まえ」という表現に修正する。

### 3 閉会あいさつ（片寄教育監）

失礼します。一昨日、教育委員会の建物の前で前奥出雲町教育長の安部さんとばったりお会いしました。ホームページを見ていただいているようでございまして、素晴らしい提言がまとまりつつあるようですねとお声がけいただき、うれしく思うと同時に、委員の皆様方これまでのご苦勞に感謝しなければという思いを感じたところでございます。肥後会長様を初め、委員の皆様方におかれましては、2年間、公私ともに大変ご多忙の中、本検討委員会にご参加、そして貴重なご意見を毎回いただきましたことに、まずもって感謝を申し上げます。

す。そして、また本日、最終提言を取りまとめていただきました。パブリックコメントの回答の意見交換の中でも、県教育委員会に委ねたいという文言が随所に記載をされておりますし、提言の最後の「おわりに」のところにも、県教育委員会事務局に対する期待を表現していただいております。題名には将来像という言葉が使われていますが、「像」を片仮名で表現すれば「イメージ」となります。我々といたしましては、イメージにとどまらないように、3月7日、会長様から手交いただきます提言を受け、速やかに具体的な計画立案の作業に取りかけられるような準備をしまいることをお約束申し上げまして、2年間にわたり皆様方のこの会へのご参加、それから、意見を頂戴いたしましたことに対するお礼の言葉とさせていただきます。どうもありがとうございました。